

報告事項

資料5-1

【令和元年度実績】

○岩国市

名称	概要
錦帯橋調査報告書	規格・ページ数:A4、272ページ 発行部数:300部 刊行目的:錦帯橋の建造物としての価値を明らかにする。 ※市内図書館、市役所情報コーナー等にて閲覧可能。
錦帯橋ロゴマークの積極的活用	利用数:6部署16届出 内容:岩国駅西口の駅前広場バスのりばの案内板、パンフレット等の印刷物、封筒など
のぼりの作製(2代目)	規格:W600mm×H1,800mm/黒1色印刷 作成枚数:40枚 内容:「錦帯橋を世界遺産に」のキャッチフレーズが入ったのぼりを初代のデザインイメージを継承して新たに作製。錦帯橋ロゴマークをのぼりの上部に挿入。
【錦帯橋】岩国市公式ホームページ	アドレス: http://kintaikyō.iwakuni-city.net/ 更新回数:14回(新着情報等) アクセス数:約168,000件 内容:錦帯橋の歴史、技術、四季折々の画像や、世界遺産登録に向けた取組などを紹介するホームページ上において、適宜、情報発信を行った。
全国木橋サミット2019in岩国	開催日:令和元年12月19日 事業主体:(主催)岩国市、(共催)公益社団法人土木学会木材工学委員会 参加人数:約100名 内容:5年に1度の健全度調査に合わせて、木橋の維持管理について、全国の自治体・有識者を招き、木橋の現状と課題について情報交換し、併せて、全国へ錦帯橋の維持管理を含めたPRを行った。
錦帯橋学校	開催日:令和元年8月18日 参加者数:14人 内容:小・中学校の児童・生徒を対象に、「ものづくり」とおして木に触れ親しむ機会を提供するとともに、錦帯橋の1/5模型の組立を通じて、錦帯橋を身近に感じてもらうことを目的として開催。ペン立てかタブレット置きを選択し、大工による指導の下、製作した。
錦帯橋模型組立	開催日:通年(申込みに応じて対応) 主催者:各行事の主催者 実施件数:[体験]4件(柱野小学校、藤河小学校、「英語交流のまち推進フォーラム～English Party In Iwakuni～」(10月26日)など)、[展示]2件 内容:依頼に応じて、錦帯橋5分の1模型の組立体験等を実施し、構造について紹介した。

錦帯橋健全度調査及び保全工事 ①強度試験 ②老朽調査 ③保全工事	実施時期: ①令和元年8月5日～9日、②令和元年12月21日～24日、 ③令和元年12月2日～令和2年3月11日 内容: 5年に1度の健全度調査及び保全工事を実施。期間中、調査や内容がわかるチラシ(A4両面)を錦帯橋の入口に設置、配布し、理解増進を図った。
学校行事における錦帯橋説明	開催日: 通年(依頼に応じて対応) 参加者数: 約150人 内容: 市内小中学校の社会見学等において、錦帯橋の歴史や構造、保存・活用に向けた取組について紹介した。(令和元年度実績3回、5校)
出前授業	開催日: ①令和元年10月11日、②令和元年11月20日、③令和2年2月5日 参加者数: ①藤河小学校6年生 17人、②③岩国小学校4年生 144人 内容: 45分授業を計5回実施(①1回、②③2クラスずつを1日2回) ①、②錦帯橋の説明および質疑応答を行った。 ③「錦帯橋の世界遺産とまちづくり」をテーマに世界遺産全般、錦帯橋の取組及び質疑応答などを行った。
錦帯橋世界文化遺産専門委員会	開催日: 1回(令和元年7月27日)

○岩国市教育委員会

名称	概要
岩国市教育委員会ピンバッジ	規格: 15mmサイズ 製作個数: 50個 内容: 岩国市教育委員会職員用ピンバッジに、錦帯橋のデザインをあしらひ、教職員及び事務局職員が襟や名札に着け、錦帯橋をPRしている。
企画展「史料で見る江戸時代の錦帯橋」	開催期間: 令和2年3月15日(日)～5月10日(日)[4月15日(水)～新型コロナウイルス感染症対策のため休館中] 来館者数: 3,962人(来館者数は4月14日(火)までのもの) 内容: 架替にどのくらいの日数とお金がかかっていたのか? 橋出米は何のため? など、史料から錦帯橋の歴史について紹介する。
錦帯橋学「こどもガイド」岩国小学校	活動期間: 通年 参加者数: 約150人 内容: 6年生の児童が錦帯橋をはじめ、吉香公園などの周辺施設で観光客を対象にガイド活動を行った。ガイドのための事前の調べ学習などを年間をとおして継続的に行った。
錦帯橋学「社会見学」「こどもガイド」御庄小学校	活動期間: 通年 参加者数: 約70人 内容: 低学年が、社会見学として、錦帯橋や周辺施設を訪れ、その歴史や伝統、文化について実地学習を行った。岩国の歴史や吉川家の歴史を学ぶとともに、錦帯橋を説明するためのポスター等を作成し、観光客を対象に現地でガイド活動を行った。【御庄小・柱野小・藤河小合同】

錦帯橋学 「社会見学」 「こどもガイド」 柱野小学校	活動期間: 通年 参加者数: 約30人 内容: 低学年が、社会見学として、錦帯橋や周辺施設を訪れ、その歴史や伝統、文化について実地学習を行った。岩国の歴史や吉川家の歴史を学ぶとともに、錦帯橋を説明するためのポスター等を作成し、観光客を対象に現地でガイド活動を行った。【御庄小・柱野小・藤河小合同】
錦帯橋学 「社会見学」 「こどもガイド」 藤河小学校	活動期間: 通年 参加者数: 約70人 内容: 低学年が、社会見学として、錦帯橋や周辺施設を訪れ、その歴史や伝統、文化について実地学習を行った。岩国の歴史や吉川家の歴史を学ぶとともに、錦帯橋を説明するためのポスター等を作成し、観光客を対象に現地でガイド活動を行った。【御庄小・柱野小・藤河小合同】
錦帯橋学 「世界遺産PR活動」 岩国中学校	活動期間: 通年 参加者数: 約300人 内容: 2年生、3年生それぞれが錦帯橋に関する情報発信活動に取り組んだ。 2年生は広島研修において、自作を含む錦帯橋PRガイド等を配布した。 3年生は修学旅行先の京都において、外国人観光客を対象に自作のPRパンフレットと英語を用いたの錦帯橋PR活動を行った。
学校への出前授業における錦帯橋の説明	開催日: 通年(依頼に応じて対応) 内容: 市内小・中学校の出前授業において、錦帯橋の歴史や構造、世界遺産に向けた取組について紹介した。 (令和元年度実績: 4校)
岩国ユネスコ協会 高校部錦帯橋清掃	活動日: 令和元年5月18日(土) 参加者数: 37人 内容: 錦帯橋の清掃をとおして、歴史的価値の高さを再認識し、文化財の維持に取り組む地域への貢献活動を行った。

○岩国市議会

名称	概要
岩国市議会公式ホームページ	アドレス: http://iwakunishigikai.jp 更新回数: 2回(新着情報等) 内容: 錦帯橋世界文化遺産推進フォトコンテスト2019の案内と結果について掲載した。
錦帯橋世界文化遺産推進フォトコンテスト2019	募集期間: 令和元年10月1日(火)～令和2年1月15日(水) 表彰式: 令和2年2月16日(日) 主催: 岩国市錦帯橋世界文化遺産登録推進議員連盟、錦帯橋を世界文化遺産に推す会 応募総数: 193点(一般部門: 186点 青少年部門7点) 趣旨: 錦帯橋世界文化遺産の登録に対する市民の関心度を深め、気運の啓発を図る。 内容: 部門別での募集を実施し、市長賞や議長賞などの入選作品を選定。その後表彰式を実施した。

○山口県

名称	概要
政府要望	<p>実施日:令和元年6月6日、11月7日 内容:文部科学省(文化庁)に錦帯橋の世界文化遺産登録に向けた取組への支援、錦帯橋の世界遺産暫定一覧表への追加記載を要望した。</p>
教育活動	<p>実施校及び内容</p> <p>①授業の取組 ○学校独自の特色を生かした学校設定科目「地域学習」の授業において、錦帯橋の魅力を生徒に伝えた。(岩国商業高等学校)</p> <p>○授業「課題研究」の一環として、コミュニティスクールの取組のひとつとして市社会福祉協議会とも連携しつつ、「錦帯橋を車イスで渡ろうプロジェクト」の取組を推進し、引き続き補助器具の作成、改良を行った。(岩国工業高等学校)</p> <p>②部活動の取組 ○錦帯橋を含む城下町の文化財や、周囲の自然について、調査・研究を進めた。「錦帯橋ホログラム」を作成し、文化祭で上映した。(岩国高等学校)</p>
やまぐち県政出前トーク「山口県内の世界遺産」	<p>実施日:①令和元年6月21日(金)、②令和2年2月17日(月) 対象:①防府市西浦公民館高齢者学びの会22名、②下関ロータリークラブ36名 内容:県民等によるグループ・団体を対象に、世界遺産の制度や、萩市の5資産が含まれる世界遺産「明治日本の産業革命遺産」や、世界遺産を目指した「錦帯橋」の取組を紹介した。</p>
山口県Webサイト「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」	<p>アドレス:http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50400/Kyushu-Yamaguchi/suisinnkyougikai.html 内容:錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会について掲載。</p>

○錦帯橋を世界文化遺産に推す会

名称	概要
のぼり旗の配布	規格:42cm×210cm 配布数:300枚 配布先:会員ほか 内容:「錦帯橋を世界文化遺産に」ののぼり旗の在庫を希望者会員に配布した。
第6回岩国吉川会 オープンフォーラム	開催日:令和元年11月10日 場所:シンフォニア岩国 多目的ホール 参加者数:80人 内容:オープンフォーラムに共催。市内生徒を対象に絵画ポスターコンテストを行い、表彰。優秀作品集を作成した。
錦帯橋世界文化遺産 推進フォトコンテスト 2019	募集期間:令和元年10月1日(火)～令和2年1月15日(水) 表彰式:令和2年2月16日(日) 主催:錦帯橋を世界文化遺産に推す会、岩国市錦帯橋世界文化遺産登録推進議員連盟 応募総数:193点(一般部門:186点 青少年部門7点) 趣旨:錦帯橋世界文化遺産の登録に対する市民の関心度を深め、気運の啓発を図る。 内容:部門別での募集を実施し、市長賞や議長賞などの入選作品を選定。その後表彰式を実施した。
錦帯橋を世界文化遺産 に推す会 ホームページ	アドレス: http://kintaikyosekaiisan.jp/ アクセス数:約50,000件 更新回数:10回 内容:錦帯橋の歴史や木組みの独創的技術の内容について分かりやすく説明し、理解を深めた。 また、「錦帯橋を世界文化遺産に推す会」の活動を紹介した。
公開講演 「世界文化遺産への 道程－萩市の事例に ついて－」	開催日:令和元年6月22日 場所:岩国市民文化会館 参加者数:120人 内容:「明治日本の産業革命遺産」を実現した立役者、前萩市長の野村興児氏に、推進の道程と知恵を 教示していただくとともに、岩国市民の錦帯橋世界文化遺産登録への機運を醸成した。
調査研究「隔石の探 索」	内容:探索したが、見つからず、継続して取り組むこととした。
調査研究「錦帯橋の 桁に用いられた巻金・ 鋳の調達先」	内容:錦帯橋の橋桁は断面集成材といえる。それを可能にした巻金・鋳の原料の調達先を探したが、詳細は 不明であった。 調査地域:島根県、鳥取県、広島県

○一般社団法人岩国市観光協会

名称	概要
城下町岩国(錦帯橋)の史跡を訪ねて(錦帯橋周辺散策マップ)	規格・ページ数:A4、2色刷 発行部数:220,000部 言語:日本語 内容:錦帯橋を中心として、その周辺の主要観光施設をはじめ、広告を募り、宿泊施設、飲食店等も掲載。「錦帯橋を世界遺産に！」の一文を掲載した。
第42回錦帯橋まつりチラシ	作成主体:(一社)岩国市観光協会内 錦帯橋まつり実行委員会 規格・ページ数:B4、3色刷り 発行部数:53,000部 言語:日本語 内容:錦帯橋まつりの各行事時間・場所や交通規制図等を掲載。「錦帯橋を世界遺産に！」の一文を掲載した。

○岩国商工会議所

名称	概要
第42回錦帯橋まつり青年部錦帯橋世界遺産PRブース	開催日:平成31年4月29日 参加者数:500名 内容:○今年は、錦帯橋を完成させる用紙にスタンプを押し、青年部のロゴ入りの紅白もちなどの景品が当たるくじ引きを行った。用意した500枚の台紙は午前中でなくなるほどの盛況であった。 ○恒例の錦帯橋の5分の1模型の組み立て体験は、雨天のためできなかった。